

平成29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	快適で人にやさしい都市交通の形成		課(室)名	交通政策課
	施策	公共交通の利便性の向上		電話番号	087-839-2138
	基本事業	人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの導入		事業実施主体	市
	事務事業	公共交通利用促進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	多様な交通手段が有機的に連携した、快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、過度に自動車に依存しない本市の目指すべき都市交通の将来ビジョンを明らかにした「総合都市交通計画」や、平成25年9月に公布・施行した「公共交通利用促進条例」に基づき、各種施策・事業の推進や市民啓発活動等を行う。				
29年度概要	カーフリーデー 総合都市交通計画推進協議会 (協議会3回、3部会各2回) 公共交通利用促進事業 (乗継23,328、高齢98,400)	4,100千円 468千円 121,728千円			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)



【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	総合都市交通計画や公共交通路用促進条例の理念に基づき各種施策を展開することにより、公共交通の利便性向上と利用促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標H30
総合都市交通計画推進協議会開催回数	回			3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標H30
成果指標	施策全体の満足度(市民満足度調査)	%	目標値			21	22	23
			実績値			21		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 各種施策・事業の推進を通じた、公共交通の利用に対する機運の醸成等により、「公共交通の利便性の向上」に係る市民満足度については、昨年度に比べ減少したものの、年度目標値は達成できた。 (目標達成度) 							
								(達成度) 100.0% 35点
成果指標	公共交通機関利用率	%	目標値			15.3	15.5	15.7
			実績値			14.7		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 当該指標は、平成19年度を基準年度として、毎年一定の利用者増(累積)を目標として掲げている。前年度に比べ、公共交通機関利用者数は、約2,300人増加し、利用率も0.5%上昇したものの、20年代前半に利用者数が減少したことの影響により、目標値の達成には至らなかった。 (目標達成度) 							
								(達成度) 96.1% 33点

【コストの推移】

指標名	単位	平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(予算)
トータルコスト	[千円]	118,719	236,785	185,964	317,640
(事業費)	[千円]	100,266	216,057	170,262	302,286
(職員人件費)	[千円]	18,453	20,728	15,702	15,354

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

公共交通の利用者数(率)は上昇したものの、公共交通の利便性の向上についての市民満足度は低下していることから、市民意識(満足度)が低下している原因等を分析し、その改善に取り組んでいく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

交通事業者など関係機関と更なる連携の強化により、利便性を高める施策と、効果的な情報発信(モビリティマネジメント)の実施に努めていく。